



# 地域と『つながり合う』授業実践

## I 地域交流 「作業製品販売会『くるみぼっち』」

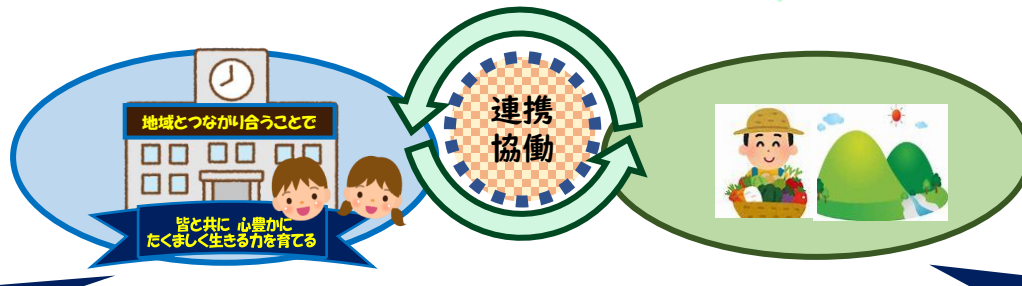
実践グループ：高等部部 生活1,2グループ

遊水地への散歩、田植えから稲刈り…  
緑地公園の、ザリガニ釣りなどのイベントに参加…  
作業学習での製品作りや製品の改良会議などの学習…  
大輪祭での販売やコンサートの発表会…

1年間の学習が全てつながり  
『くるみぼっち』になりました。



緑地公園のHPでも紹介  
していただきました。



・直接の触れ合いや関わり合いができ、  
活動の価値を実感することができる。

・手作りの製品や生徒との直接の触れ合  
いから障害理解ができる。



### 『つながり合う』POINT！（地域支援連携課から）

- ・「麻機遊水地」を活動の中心に置き、年間を通していろいろな形で活動を行って  
きた。そのため、新しい活動が始まって、生徒が意欲的に取り組むことがで  
きた。
- ・“遊水地に行く”から、“接客・販売”といった活動までの発展や、他教科との  
連携が自然な形でできていった。
- ・商品が売れていく、楽しそうな顔で買ってくれる、その場で感想を言ってくれ  
るなど、リアルタイムで手ごたえを感じることができた。